
厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業
筋萎縮性側索硬化症の病因・病態に関わる
新規治療法の開発に関する研究班

平成14年度 班会議プログラム

日 時 平成15年1月21日（火）
午前10時～午後5時

会 場 全共連ビル別館1階 コンベンションホール
東京都千代田区平河町2-7-9
電話 0120-8886-94

発 表 口演 10分 / 質疑 5分

班 長 糸山 泰人
事務局 東北大学大学院医学系研究科神経科学講座神経内科学分野
980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
Tel (022) 717-7189 / Fax (022) 717-7192

10:00 挨拶

班長 糸山泰人

10:05 セッション1

座長 阿部康二

1. 筋萎縮性側索硬化症におけるAMPA受容体を介する神経細胞死のメカニズムに関する研究 ---サブユニット mRNA分子変化からの解析---

東京大学大学院医学系研究科神経内科学

○郭 伸

河原行郎

孫 慧

伊藤杏子

国立精神・神経センター神経研究所

金澤一郎

2. GluR2過剰発現による変異SOD1マウスのALS様症状改善効果

理研脳センター運動神経変性チーム

高橋良輔

○舘野美成子

定方久子

漆谷 真

理研脳センター行動遺伝チーム

田中三佳

糸原重美東

東京都老人研神経回路動態

辛龍 文

三浦正巳

東京都神経研神経学

増田正雄

青崎俊彦

三澤日出巳

3. VEGFと運動ニューロン死

岡山大学大学院神経病態内科学

阿部康二

○永野 功

村上哲郎

塩手美冬

Hristelina Ilieva

10:50 セッション2

座長 野本明男

4. ベクターとしてのポリオウイルス

東京大学大学院医学系研究科微生物学教室

野本明男

5. 成体ラット運動ニューロン損傷に対する神経成長抑制因子(GIF)組換えアデノウイルスの保護効果

東京都神経科学総合研究所分子神経病理

渡部和彦

○坂本 剛

川添陽子

東京都老人総合研究所老年病ゲノムグループ

内田洋子

岐阜大学医学部神経・老年学分野

保住 功

犬塚 貴

東京慈恵会医科大学神経内科

井上聖啓

6. ALS遺伝子治療の基礎実験

—— AAVベクターによる骨格筋への遺伝子導入の血清型による相違 ——

自治医科大学神経内科

○村松慎一 李 小剛

中野今治

自治医科大学分子病態治療研究センター

遺伝子治療研究部

水上浩明

岡田尚巳

陳 騰

小澤敬也

7. HGFを用いた新しいALS治療法開発をめざして

—— 新しいHGF発現トランスジェニックマウスの作成と解析 ——

大阪大学大学院医学系研究科組織再生医学

○船越 洋 別所一彦

中村 敏一

11:50 セッション3

座長 岡野栄之

8. FGF-2発現ベクターによる神経細胞死の抑制とその保護効果

大阪医科大学脳神経外科

○宮武伸一 野々口直助

梶本宜永

大阪医科大学第一内科

古玉大介 木村文治

大阪大学大学院医学系研究科組織再生医学

船越 洋

Department of Molecular Pathology,

UCL Medical School

Robert Coffin

James Palmer

9. 脊髄前角運動神経への遺伝子導入

大阪医科大学脳神経外科

宮武伸一 ○野々口直助

梶本宜永

大阪医科大学第一内科

古玉大介 木村文治

大阪大学大学院医学系研究科組織再生医学

船越 洋

Department of Molecular Pathology,

UCL Medical School

Robert Coffin

James Palmer

10. ALSトランスジェニックラットにおける神経前駆細胞の挙動とHGFによる治療法の開発

東北大学大学院医学系研究科神経内科

青木正志 ○割田 仁

永井真貴子 加藤昌昭

石垣あや 松本有史

神位りえ子 糸山泰人

大阪大学大学院医学系研究科組織再生医学

船越 洋 中村敏一

11. ES細胞の神経分化

慶應義塾大学医学部生理学

岡野栄之

12:50

昼

食

(分担研究者の先生は分担研究者会議 : 於 本館地下1階 M-12会議室)

13:40 セッション4

座長 船越 洋

12. SOD1遺伝子異常を伴うFALSとH46R・G93AトランスジェニックラットにおけるSOD1凝集とレドックス制御との関連について

鳥取大学医学部脳神経病理

○加藤信介 佐伯有祐

大浜栄作

東北大学医学部神経内科

青木正志

永井真貴子

糸山泰人

鳥取大学医学部附属病院病理部

加藤雅子

Monte fiore Medical Center 神経病理

平野朝雄

13. G93AトランスジェニックマウスとSOD1遺伝子異常を伴うFALSの肝臓におけるレドックス制御関連酵素の発現について

鳥取大学医学部脳神経病理

加藤信介

大浜栄作

鳥取大学医学部附属病院病理部

○加藤雅子

日本医科大学生化学第1教室

西野武士

阿部靖子

14. 変異SOD1の安定性とLBI形成—ヒトFALSとマウスモデルでの検討
 大阪大学神経内科 佐古田三郎 ○藤村晴俊
 隅 寿恵 山本洋一
 深田 慶
 鳥取大神経病理 加藤信介

14 : 25 セッション5 座長 谷口直之

15. 変異Cu, Zn-SODと野性型Cu, Zn-SODのタンパク化学的性質の比較
 大阪大学大学院医学系研究科生化学 谷口直之 高橋素子
 宮本泰豪 ○藤原範子
16. 変異SOD1導入ラットにおける顔面神経損傷後に生じる運動ニューロンの
 易傷害性：H46RラットとG93Aラットの比較検討
 P L東京健康管理センター神経内科 ○池田 憲
 東京都神経科学総合研究所分子神経病理部門 渡部和彦 坂本 剛
 川添陽子
 東北大学大学院医学系研究科神経内科 青木正志 永井真貴子
 石垣あや 神位りえ子
 糸山泰人
 東邦大学第4内科 岩崎泰雄 木下真男
17. 小胞体ストレス応答に対するSOD1変異体の影響
 大阪大学大学院医学系研究科プロセッシング機能形態分野 ○片山泰一
 山岸 覚 遠山正彌
18. ラット脊髄組織培養 (slice culture) におけるプロテアソーム阻害剤の作用
 北海道大学医学部神経内科 ○辻 幸子 菊地誠志
 田代邦雄
 札幌西円山病院神経内科 新保和賢

15 : 25 ————— 休 憩 —————

19. 変異SOD1のmitochondria毒性と神経細胞変性：Dorfinの細胞死抑制効果との関連
 名古屋大学神経内科
 ○竹内英之 丹羽淳一
 石垣診祐 菱川 望
 伊藤 隆 道勇 学
 祖父江 元
20. ミトコンドリア膜保護剤による筋萎縮性側索硬化症の予防治療
 大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学講座 井上正康 ○吉良幸美
21. 筋萎縮性側索硬化症の皮膚病変とgalectin-1
 山形大学医学部第三内科 ○和田 学 加藤丈夫
22. 脊髄運動ニューロンに対するニコチンの神経保護効果
 京都大学医学研究科・臨床神経学 下濱 俊 ○中溝知樹
 神吉理枝 山下博史
 滋賀県立成人病センター研究所 川又 純
23. ALSに対するエダラボンを用いたオープン臨床試験
 国立精神・神経センター国府台病院神経内科 ○吉野 英 木村暁生
 浅野敦子 小林真樹子

平成14年度 研究報告書
「筋萎縮性側索硬化症の病因・病態に関わる新規治療法の開発に関する研究」班

編集： 青木正志 金森洋子 榎戸ミチ
980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
東北大学医学部神経内科
Tel 022-717-7189 / Fax 022-717-7192

印刷・製本 株式会社 東北プリント